

## 【市議会最前線】市民が関心を持てる開かれた議会を目指して＝庄原市（広島県）

24/11/01 08:00 Ln001

庄原市議会では、平成23年3月に庄原市議会基本条例を制定し、「市民が開かれた議会」、「市民参加を推進する議会」の実現を目標に掲げています。

条例制定後、自治会や行政区等を単位として組織する自治振興区に出向き、市民に直接、議会の活動状況や予算審議状況等を伝えることを目的とした「庄原市議会報告会」を開始するなど、目標実現に向け、積極的な取り組みを行ってきました。

その後、報告を中心とした内容から市民との意見交換に重点を置いた内容に変更すべく、令和3年度から名称を「市民と語る会」に改め、各自治振興区から出された地域課題等のテーマに基づき意見交換を行っています。

令和5年度には、さらなる広聴活動の充実化を図るため、5名以上で申し込みがあれば、指定の場所に議員が出向き意見交換を行う「市民と語る会 井戸端スタイル」を開始し、自治振興区での取り組みとあわせ、年間で400名を超える参加がありました。

また、全国市議会議長会から総務大臣等に対し、令和5年12月に主権者教育を強化する必要性について要望されたことを受け、地方議会を啓発するツールの一つとして「庄原市議会ガイドブック」の作成に取り組みました。令和6年度では、教職員の協力もあり、市内の高等学校に議員が出向き、完成したガイドブックを活用した生徒との意見交換を実現しています。



市内高校生との意見交換の様子



庄原市議会ガイドブック

若者の政治離れや議員のなり手不足等、地方議会の抱える課題は多々ありますが、他の議会で成功されている取り組みは、積極的に参考とさせていただく中で、これからも留まることなく、市民の負託に応えることができる議会の実現に向け、邁進してまいります。  
(了)

※本印刷物は時事通信社 iJAMPサービスから印刷されました。